

PR-2

取扱説明書

日本語

はじめに

本製品をご使用いただきありがとうございます。

本製品をより安全にご使用いただくために「ご使用ガイド」をよくお読みください。

適応範囲

本ユーザーガイドは、深圳Aputure創新科技有限公司(以下「Aputure」)のPR-2ファニーパックレコーダーシステムに適しており、その外形寸法・特性・技術要件・注意事項がユーザーガイドに記載されています。

PR-2ファニーパックレコーダーは、高品質の録音体験を提供することに特化した録音機器の一種であり、様々なシーンの収録場面に適応するように設計されています。PR-2は、録音技術者、ジャーナリスト、ビデオグラファーまたは普段使いに関わらず、高品質な便利で迅速な録音ソリューションをもたらす強力なツールとなります。

PR-2は、あなたの収録ニーズに応え、音質から操作性まで、様々なアプリケーションシナリオからデータ保護まで、収録プロセスでより良い体験を提供します。

目次

1.重要事項	Page 04
2.FCC適合宣言	Page 04
3.FCC放射線被ばくに関する声明	Page 05
4.製品に関するクイックガイド	Page 05
5.インターフェース上の機能一覧	Page 08
5-1 メインインターフェース	Page 08
5-2 収録パラメーターについて	Page 08
5-3 タイムコードについて	Page 08
5-4 収録ステータスについて	Page 09
5-5 記録停止について	Page 10
5-6 メニュー画面の操作方法	Page 10
5-6-1 GAIN調整	Page 11
5-6-2 AIスマートゲイン	Page 11
5-6-3 タイムコード設定方法	Page 11
5-6-4 音声ファイルの再生	Page 14
5-6-5 マイクの電源調整	Page 15
5-6-6 出力の設定	Page 15
5-6-7 機器のカラー識別設定	Page 17
5-6-8 Bluetooth設定	Page 16
5-6-9 収録モードの設定	Page 16
5-6-10 記録カードの設定	Page 19
5-6-11 システム設定	Page 19
6.仕様パラメータ	Page 23

1.重要事項

- ・ 本製品の製品マニュアルをよくお読みください。
- ・ この製品マニュアルは保管してください。製品を第三者に譲渡する場合は、必ずこの製品マニュアルを添付してください。
- ・ この製品マニュアルに記載されているすべての警告を確認し、すべての指示に従います。



警告：本製品を腐食性のある化学物質の近くに置かないでください。
腐食により製品が故障する恐れがあります

- ・ 本製品のお手入れには、マイクロファイバーや乾いた布を使用してください。
- ・ 慎重に操作し、落としたり、ぶつけたりすると、破損の原因になります。
- ・ あらゆる液体を製品に近づけないでください。液体が製品に入ると、電子機器がショートしたり、機器が破損したりすることがあります。
- ・ 清潔で乾燥したほこりのない環境で保管してください。
- ・ 製品に不具合が生じた場合は、正規販売店に修理を依頼してください。不正に分解されたデバイスの修理は保証の対象外ですが、有償で修理を依頼することは可能です。
- ・ この製品は、RoHS、CE、FCC、KC、および日本の総務省によって認証されています。
- ・ 運用基準を厳守してください。製品の誤用に起因する修理は保証対象外ですが、有償で修理を依頼することはできます。
- ・ このマニュアルに記載されている手順と情報は、完全に管理された企業のテスト手順に基づいています。設計および仕様に変更される場合、それ以降の通知は行われません。

2.FCC適合宣言

このデバイスは、FCC規則のPart 15に準拠しています。動作は次の2つの条件に従います。

(1)このデバイスは、有害な干渉を引き起こす可能性がないこと(2)このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる必要があります。

Warning(警告): コンプライアンスの責任者によって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

NOTE(注意): 本装置は、FCC規則第15条に基づくクラスBデジタルデバイスの制限に適合することが試験により確認されました。これらの制限は、住宅での設置において、有害な干渉から合理的に保護するように設計されています。本機は、無線周波数エネルギーを発生、使用、放射する可能性があり、説明書に従って設置、使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置場所において干渉が発生しないことを保証するものではありません。本装置がラジオまたはテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合、それは装置のONとOFFによって決定することができ、ユーザーは、以下の手段の1つまたは複数によって干渉を修正を試みることが推奨されます

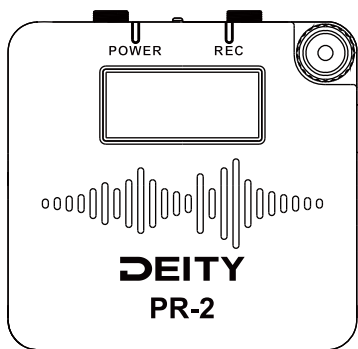
- ・ 機器と受信機の距離を離してください。
- ・ 受信機が接続されている電源とは別の電源に機器を接続してください。
- ・ 販売店または経験豊富なラジオ・テレビ技術者にご相談ください。

3.RF(周波数)警告文

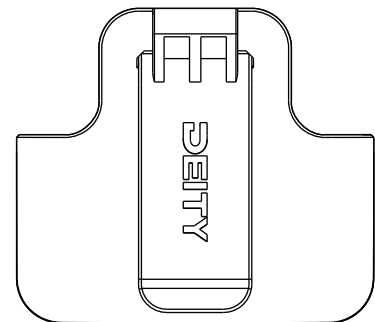
このデバイスは、一般的な RF 曝露要件を満たすように評価されています。このデバイスは、携帯型の露出条件で制限なく使用できます。

4.クイックガイド

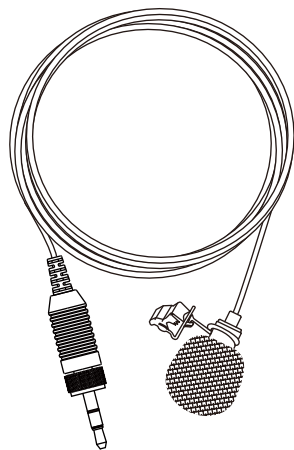
同梱内容



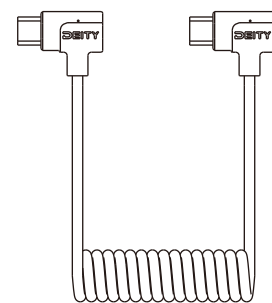
PR-2本体 × 1



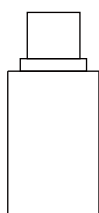
レコーダーベルトフック × 1



W.Lav Pro (3.5mm TRSコネクタ) × 1



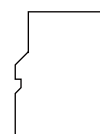
USB-C to USB-Cケーブル × 1



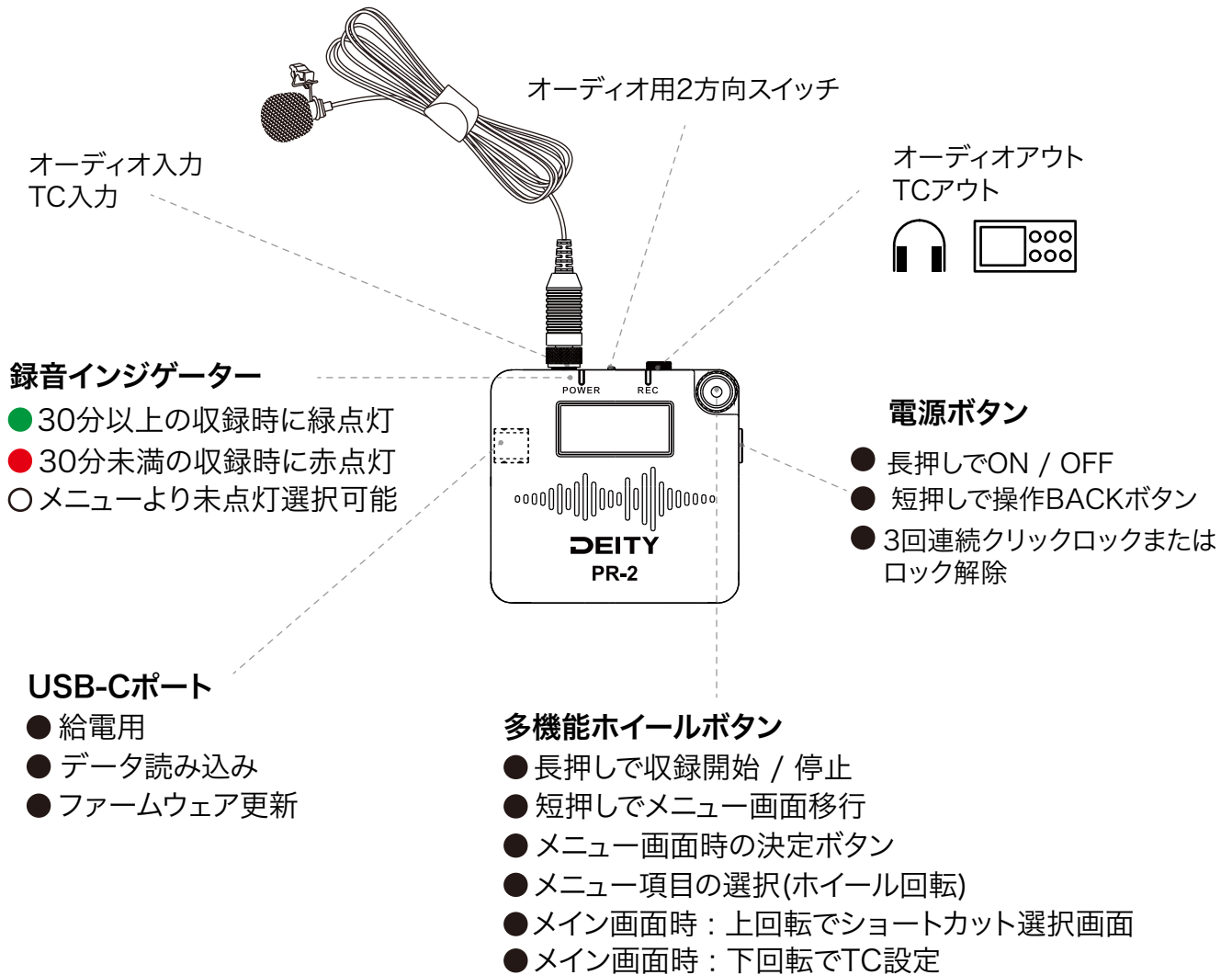
USB-C to USB-A 変換 × 1



DEITY 単三電池(使い捨て) × 2



micro SDカード × 1



グローバルバージョン

オーディオ用2方向スイッチ:

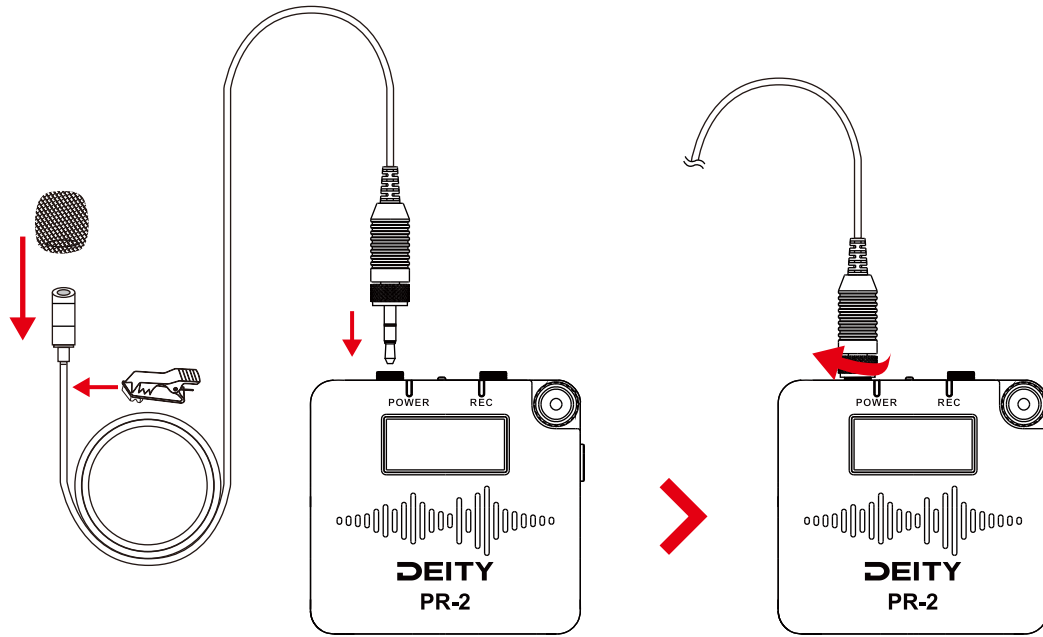
- ▶左:通常録音、モニタリング時は処理後出 : MicとLineオーディオの通常出力がされます。
- ▶右:通常録音、モニタリングは回路を通さず直接出力されます。ライン信号は通常出力され、Mic信号は収録可能ですが、モニタリング出力はありません。

アメリカバージョン

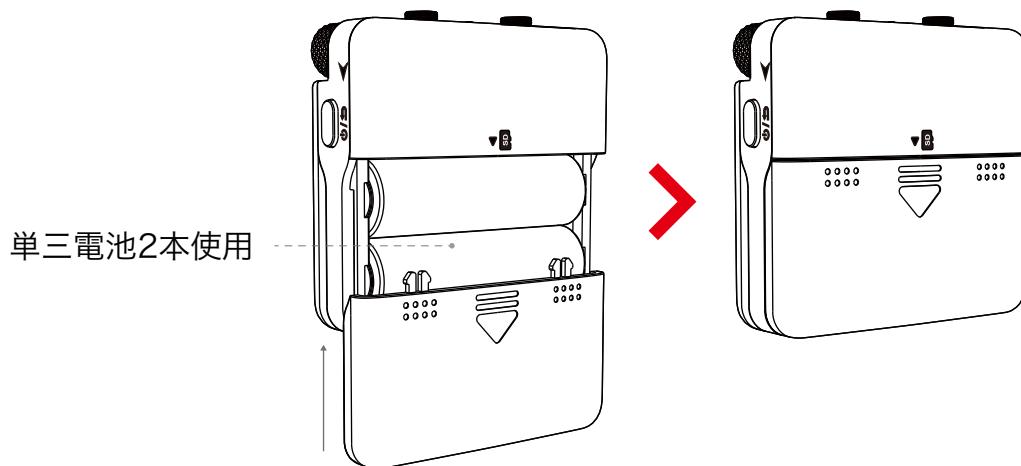
オーディオダブルスロースイッチ:

- ▶左:通常録音、出力ポートからは出力されません。
- ▶右:通常録音、出力ポートはミュートされます

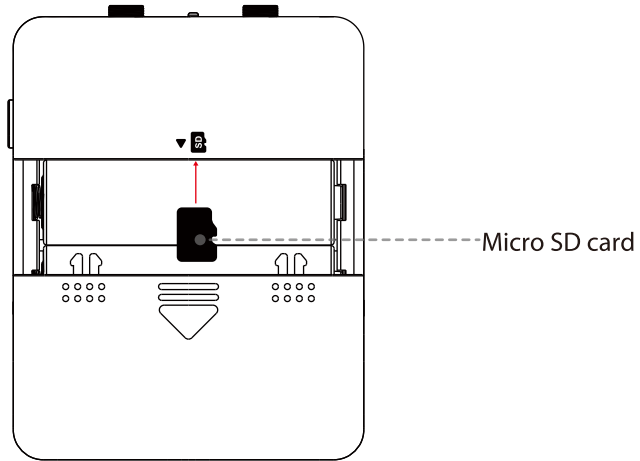
マイクの取り付け図



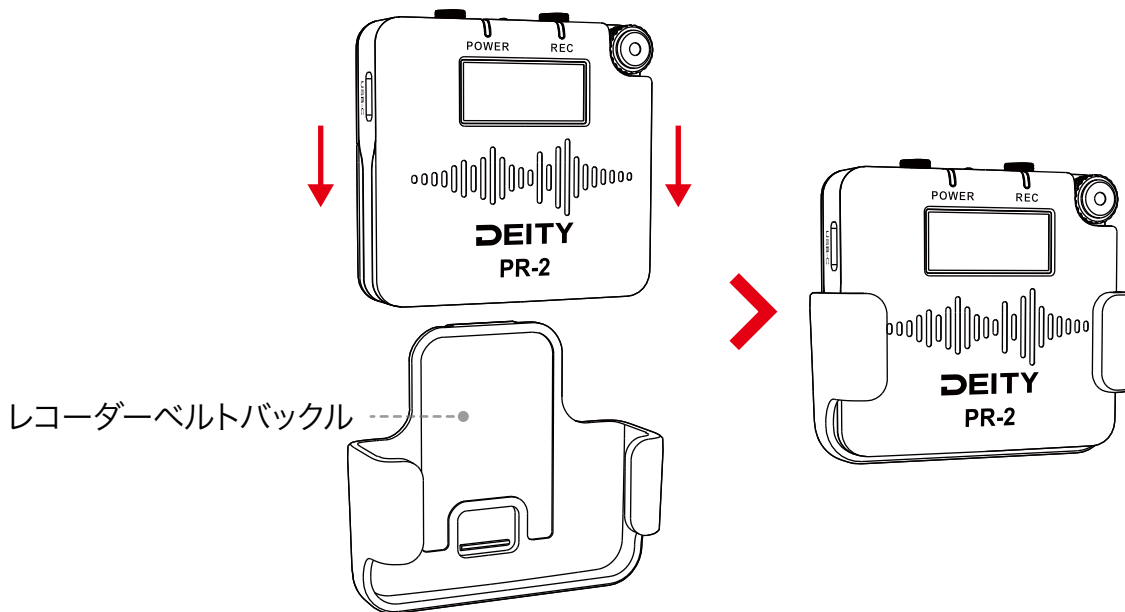
バッテリー取り付け図



記録カードの取り付け図

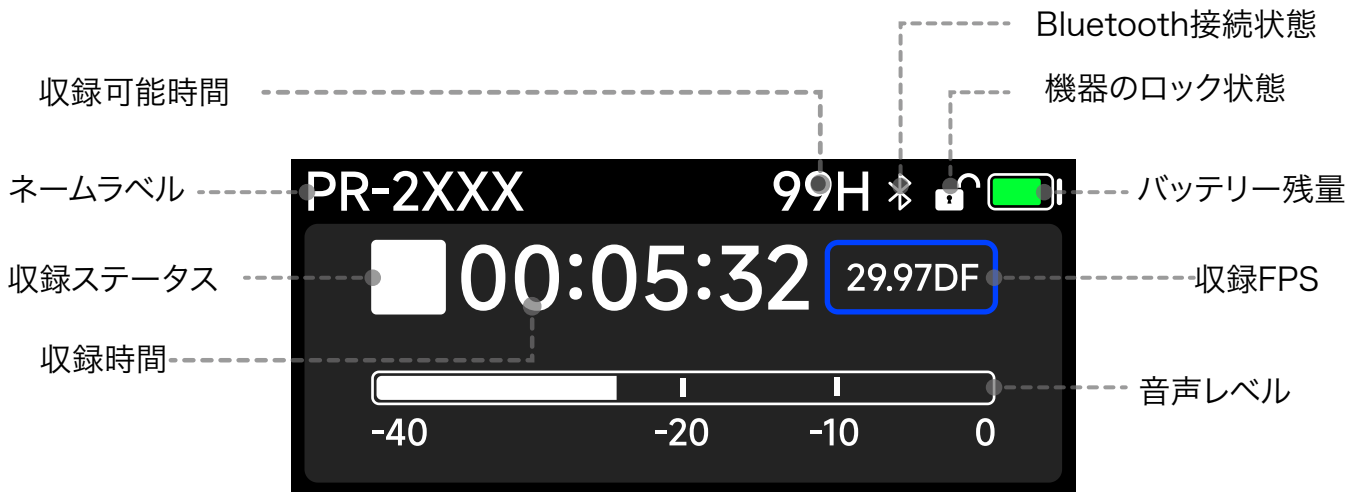


ベルトバックル取り付け図

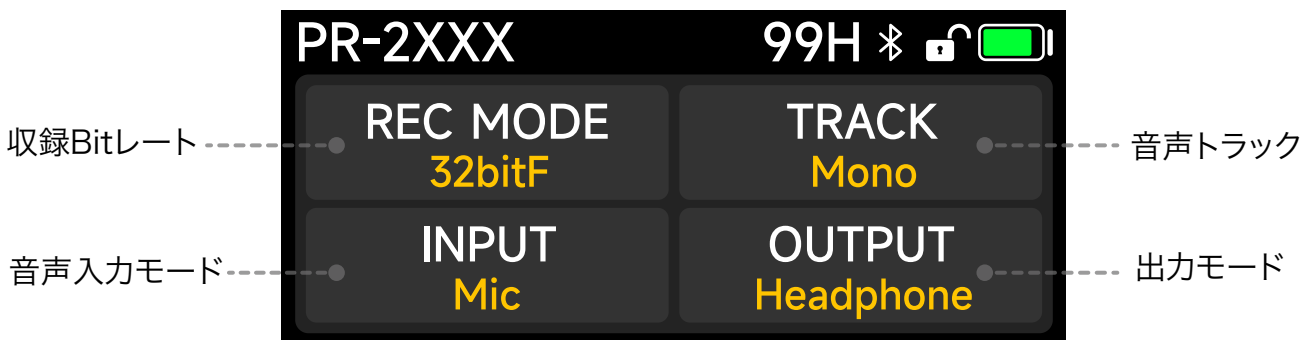


5.インターフェース上の機能一覧

5-1 メインインターフェース



5-2 メインインターフェース / 収録パラメーター

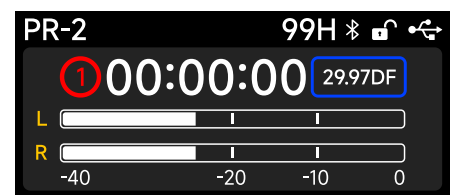
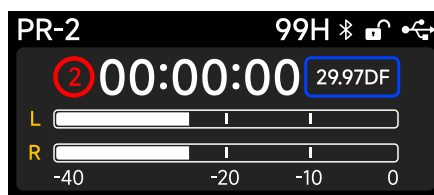
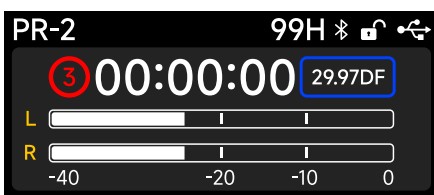
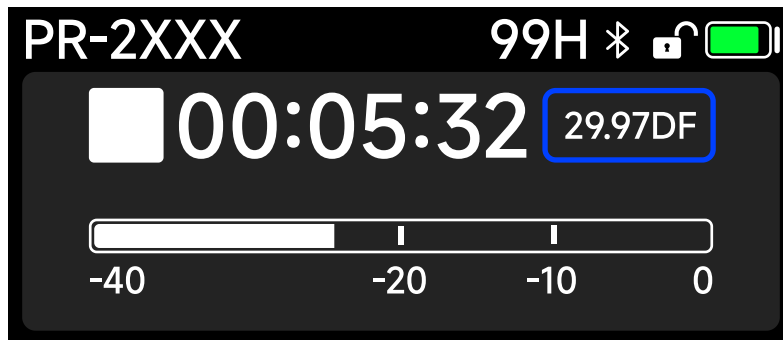


5-3 メインインターフェース / タイムコードステータス



5-4 収録ステータス

収録を開始するには、機器のロックを解除した状態でマルチファンクションホイールボタンを長押しし、プログレスバーのカウントダウンが完了するのを待ちます。



5-5 記録停止

録画を停止したい場合は、装置のロックを解除した状態で多機能ホイールボタンを長押しし、プログレスバーのカウントダウンが完了するのを待ち、録画を停止する必要があります。

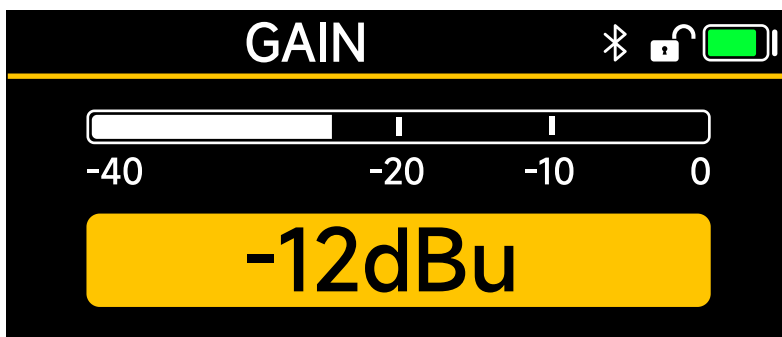


5-6 メニュー画面の操作方法

多機能ホイールボタンを短く押すことでメニュー画面に入ります。

5-6-1 GAIN 調整

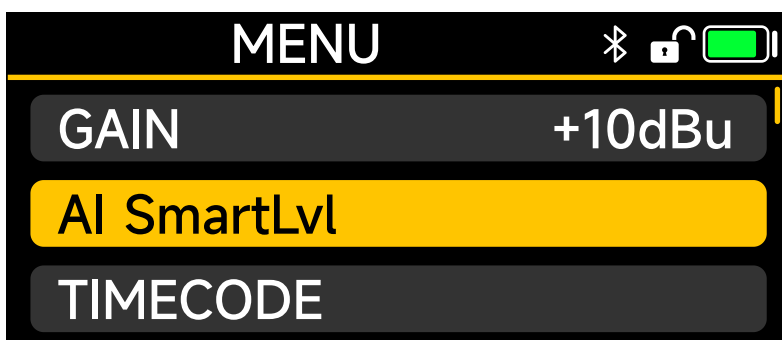
このモードでは、マイク入力のゲイン値を調整することができます。調整幅は-12dBuから+ 36dBuまでの範囲をカバーすることができ、マイクの入力ゲイン値の正確なコントロールを可能にしています。様々な録音環境に応じて値を調整し、適切な値を選択することで、最良のオーディオ録音効果を得ることができます。



5-6-2 AI スマートゲイン

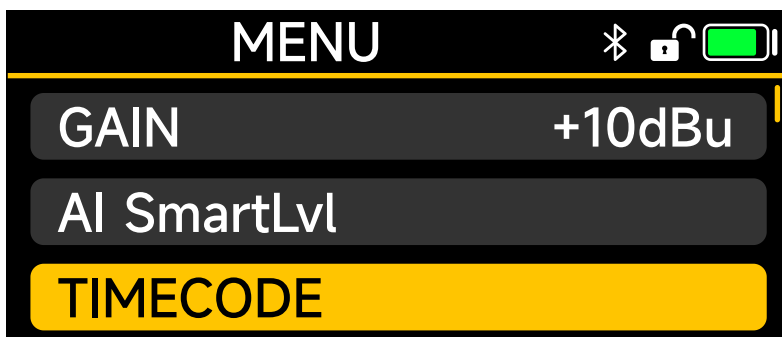
このモードでは、収録環境に適したゲイン値をAIの助けを借りて計算することができ、さまざまな収録のニーズに合わせて適切なゲインの設定を可能にします。

優れたオーディオ性能の実現を可能にするでしょう。



5-6-3 タイムコード設定方法

このモードでは、タイムコード同期のパラメータ情報を設定できます。



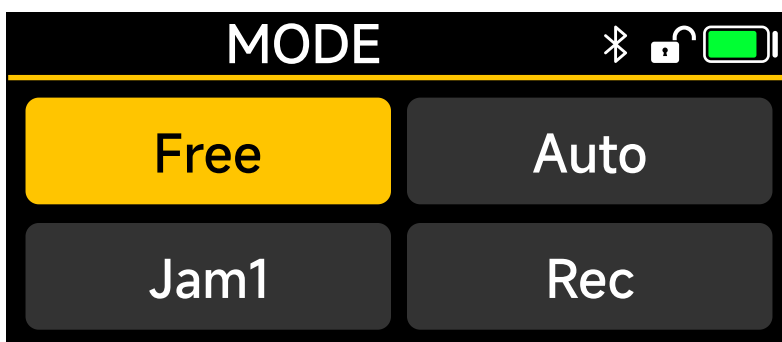
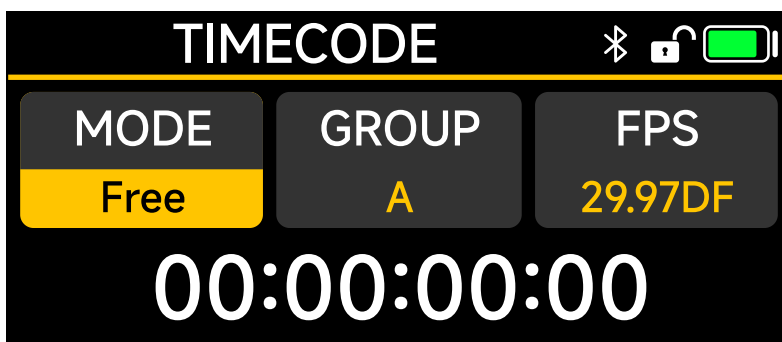
MODE オプションでは "FREE" / "AUTO" / "ONCE" / "Rec " のタイムコードモードを設定できます。

FREE : 有線 / 無線のタイムコードを自動認識し、同期可能です(初期設定)。

AUTO: 有線 / 無線のタイムコードを自動認識し、同期可能です。

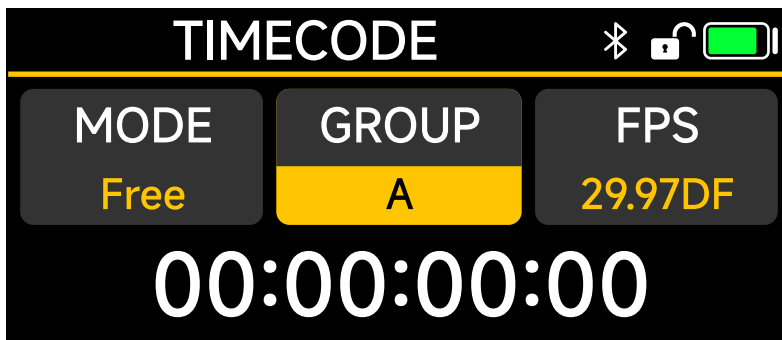
JAM1 : JAMを選択すると、すべての機器が数秒でメインタイムコードに同期します。有線同期は1回のみとなり、無制限同期をする場合はタイムコード同期情報を変更してください。

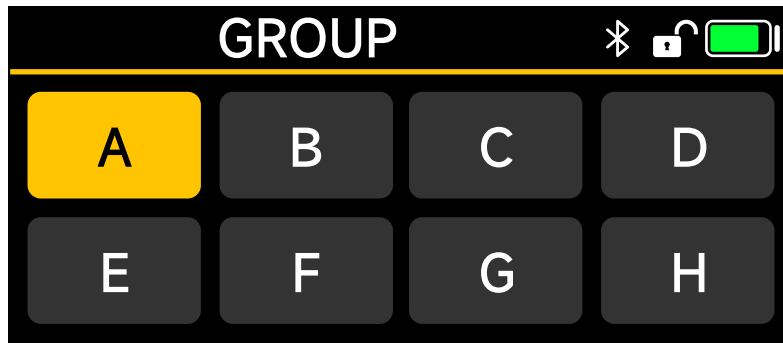
Rec : 有線または無線でタイムコードを同期できない場合、再生および録音時にタイムコードが動き、非録音時はタイムコードが停止します。



DEITYのタイムコード管理を容易にするため、A~Hのタイムコード同期グループが用意されており、同じグループ内の機器のみ同期が可能です。

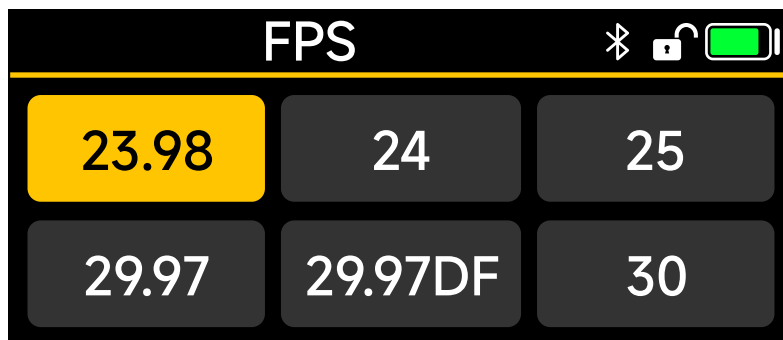
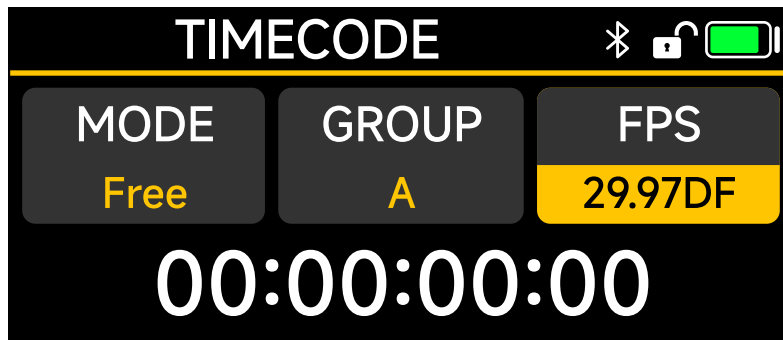
BluetoothでSidus Audioアプリと接続する場合、グループの制限を気にすることなく、アプリから全ての機器のタイムコード同期が可能です。





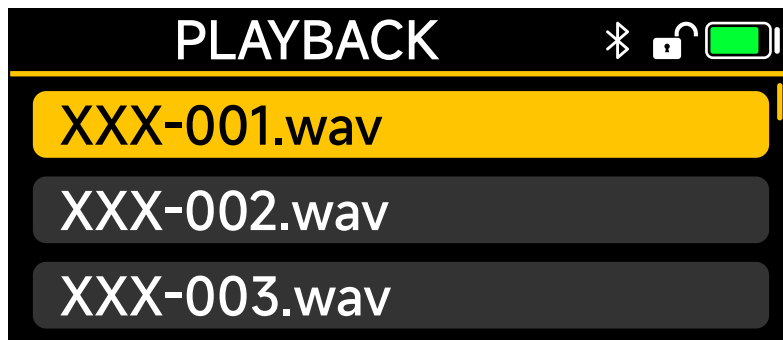
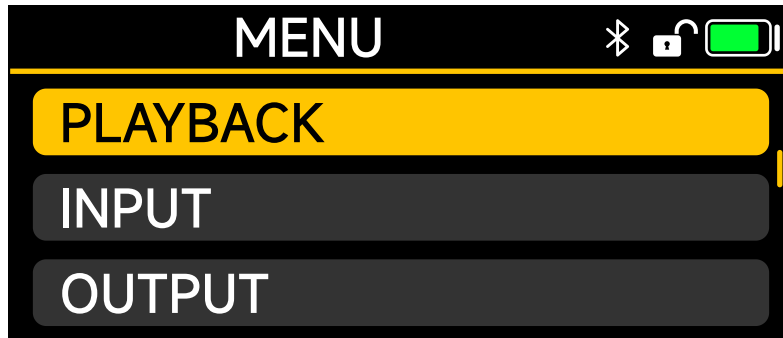
撮影環境に応じてフレームレートを設定できます。選択できるフレームレートには、23.98、24、25、29.97、29.97DF、30、50、60fpsが用意されています。

このうち、29.97DFはコマ落としの状態を示します。初期設定では25FPSですが、特定の状況に応じて適切なフレームレートを事前に設定することをお勧めします。これにより、さまざまな収録の要件に適応し、タイムコードの正確性と安定性を確保することができます。

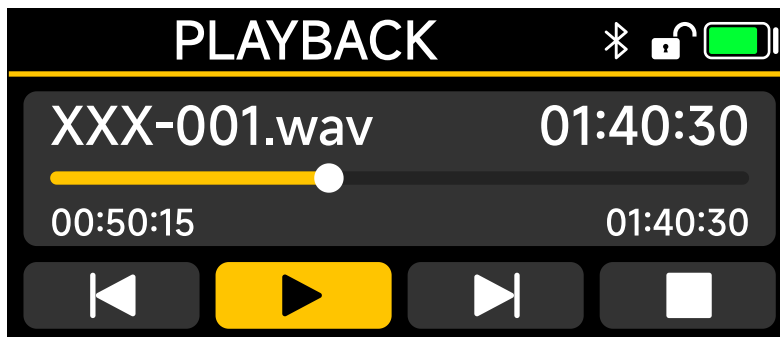


5-6-4 音声ファイルの再生

記録カードに保存された音声ファイルを再生することができます。ウェーブホイールにより、再生したい録音ファイルの日付に応じたフォルダを選択することができ、そのフォルダ内から再生する録音ファイルを選択することで、ファイル内容を確認することができます。

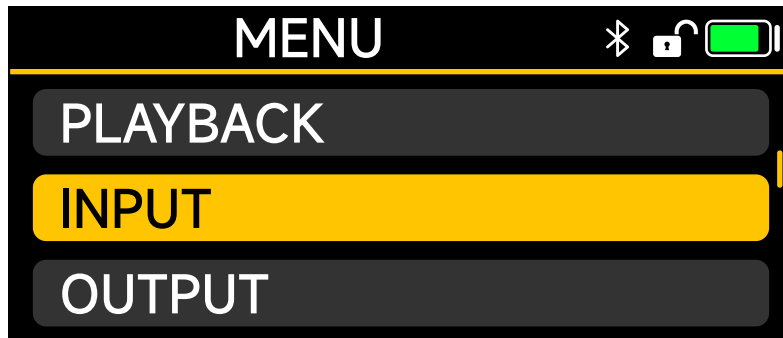


- 再生画面では、マルチファンクションホイールボタンを短く押すことで、ファイルの再生と一時停止ができます。
- 一時停止している際は、ホイールをスクロールしてファイルの切り替え、再生機能や停止機能を選択できます。
- 再生中にホイールをスクロールすることで早送り、早巻きが可能です。



5-6-5 マイクの電源調整

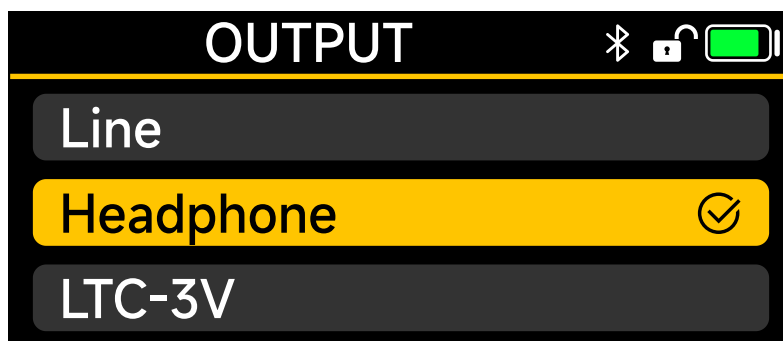
このモードでは、マイクの駆動電圧の切り替えが可能で、必要な環境に応じてマイク入力オプションを選択できます。



5-6-6 出力の設定

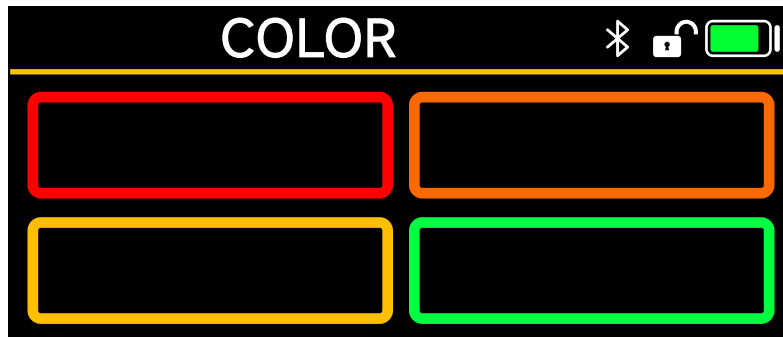
出力設定では、撮影環境に応じて異なる出力モードを選択できます。

：ライン / モニター / LTC (3V) のオプションにより、様々な環境に適した接続が提供されます。OUTPUT Modeをモニターに切り替えると、マイク入力音声を直接音声出力ポートから出力することができます。



5-6-7 機器のカラー識別設定

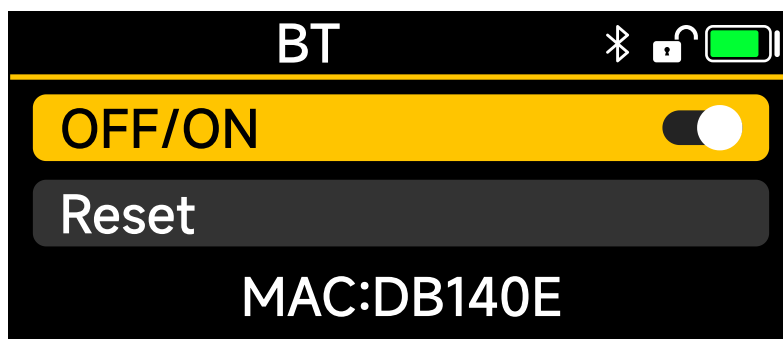
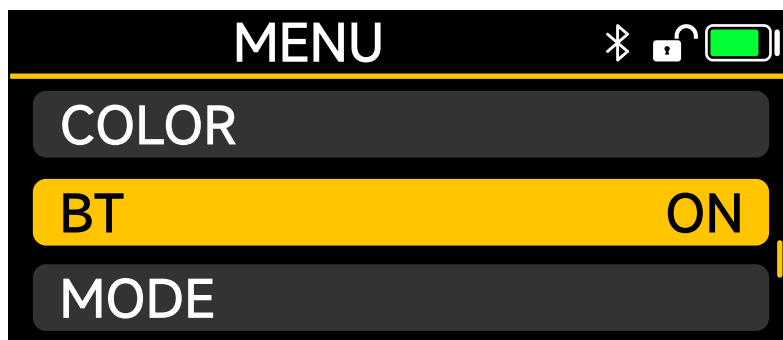
このモードでは、カラーマーカを選択して、メインインターフェイスのフレームレートボックスに対応するカラーマーカを表示し、異なる色で機器をマークすることが可能です。これにより、複数機器の操作環境において、異なる機器を素早く認識・区別することができ、機器の混乱やエラーを回避することができます。



5-6-8 Bluetooth設定

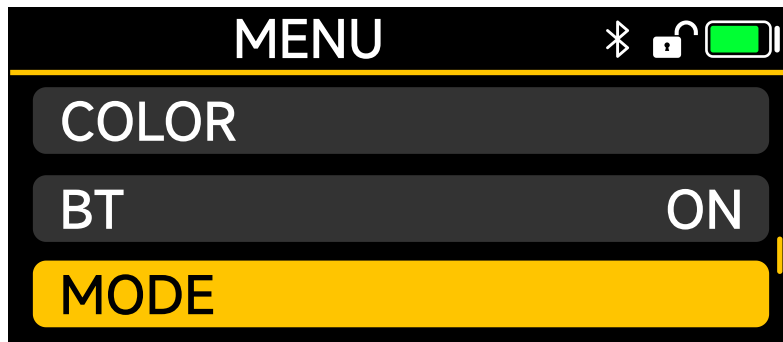
このモードでは、Bluetooth機能のオン/オフ設定が可能です。デフォルトではBluetoothはオンになっています。" RESET "を選択し、"YES "をクリックすることでBluetoothリセットが可能となり、" SUCCESS "メッセージが表示されたらリセット完了です。

MACアドレスは、現在の機器の物理的なアドレス番号で、工場出荷時の機器の識別コードであり、端末がBluetoothに接続されている際に機器の区別が可能です。



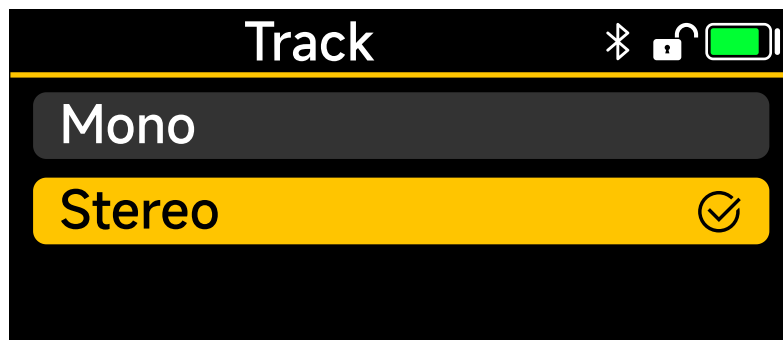
5-6-9 収録モードの設定

このモードでは、録音パラメーターの調整が可能です (次のページを参照してください)。



トラック(Track) :

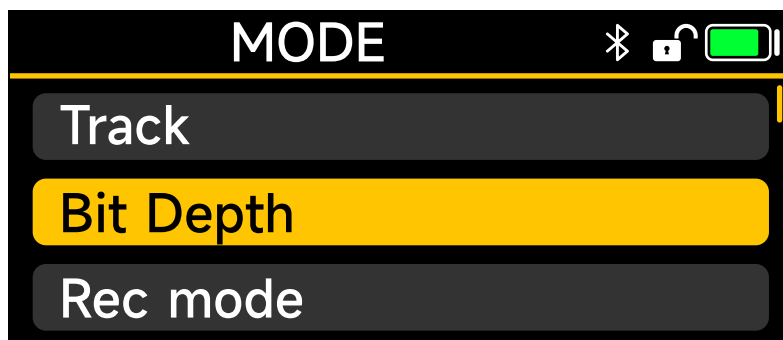
録音のトラック数を設定します。TrackでMonoを選択するとオーディオ出力はシングルトラック、Stereoを選択するとオーディオ出力はステレオになります。



ビット深度(Bit Depth) :

Bit Depthモードでは、録音するビット数を設定できます。

デフォルトのサンプルレートは48kHzで、24bitまたは32bit フロート録音を選択できます。



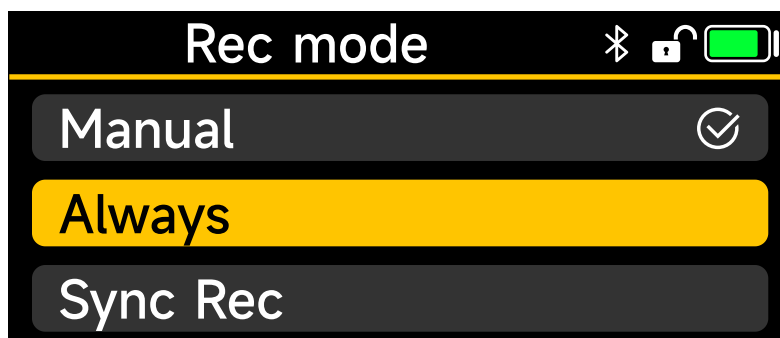
収録モード :

このモードでは、収録方法の選択が可能です。

Manual : 手動で収録開始 / 停止を切り替えが可能です (初期設定時はMANUAL)。

Always : 選択後、電源投入時に自動的に収録を開始します。

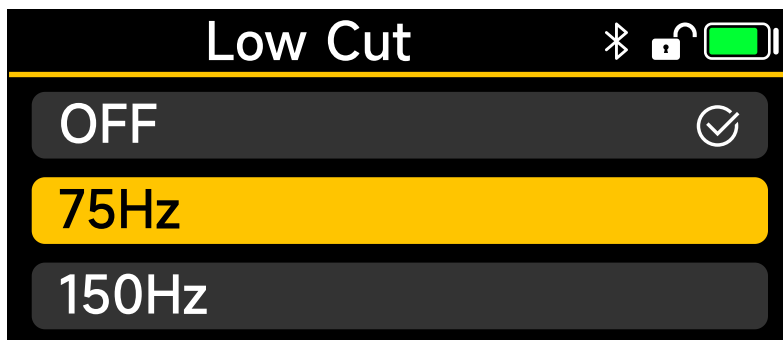
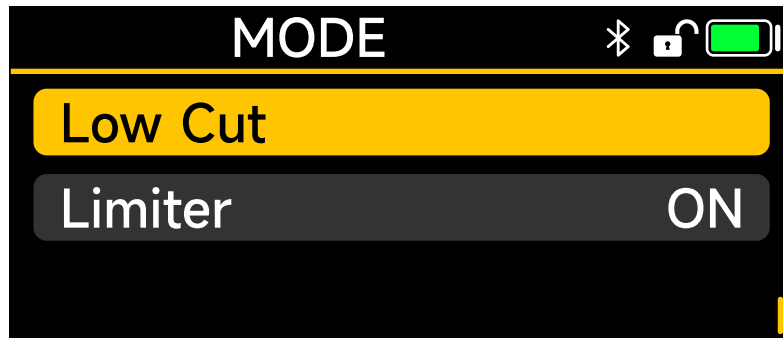
Sync Rec : ワイヤレス同期後に自動収録を開始します。



ローカット:

このモードでは、用途に応じてローカットの値を設定することができます (OFF、75Hz、150Hz)
ローカットにより、オーディオ信号から指定した上限の低周波ノイズの除去が可能です。

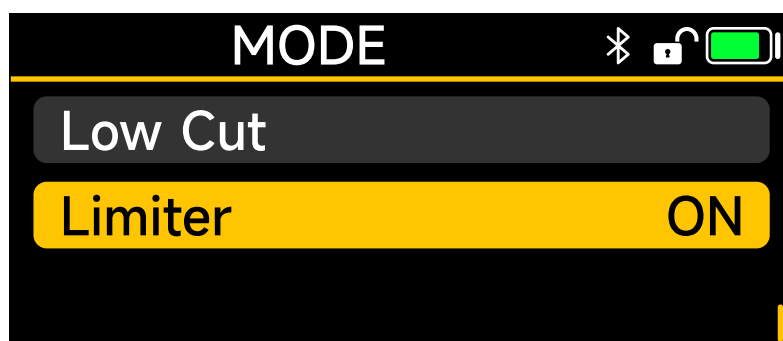
※ローカット機能は、収録内容や環境に応じて調整してください。ローカット機能を過度に使用すると、元のオーディオの品質や臨場感に影響を与える場合があります。ローカット機能を有効にする前に、ご使用の機器のパラメータ設定を理解し、事前のテストと調整を推奨します。



リミッター(24bitモノラル設定時のみ対応) :

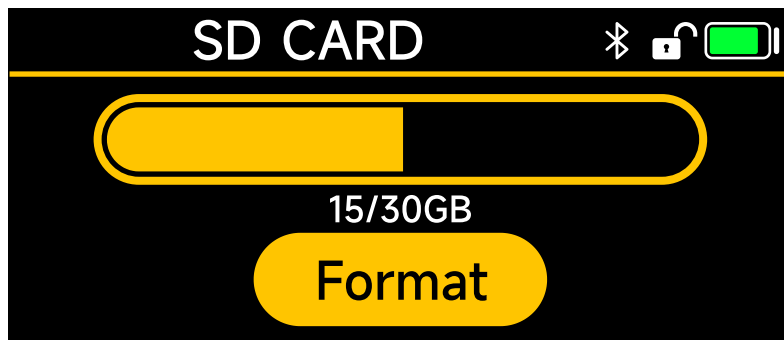
リミッター機能により、オーディオ信号の強度を自動的に識別し、設定されたしきい値を超えないように調整することができます。リミッターは、信号がしきい値を超えると、過剰な信号ピークを自動的に減少させ、オーディオの歪みや音割れを回避します。

※リミッターは音声の歪みを防ぐことができますが、過度に使用すると音声のダイナミックレンジが失われ、鈍く弱く聴こえることがあります。そのため、リミッターを設定する際には、実際の録音環境や音声の内容に応じて適切な調整を行ってください。



5-6-10 記録カードの設定

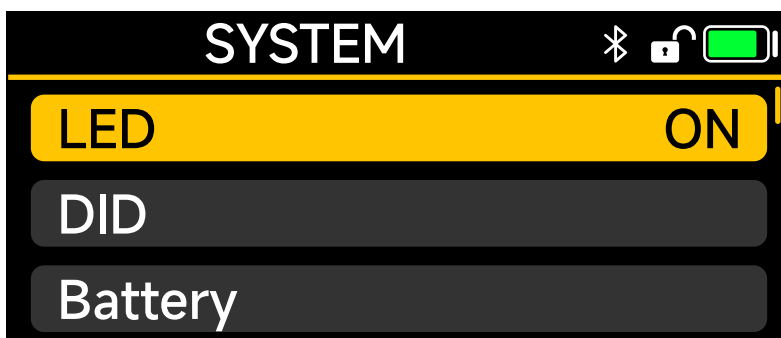
このモードでは、記録カードの記憶容量が表示されます。"FORMAT"を選択して"YES"をクリックすると記録カードをフォーマットすることができ、"SUC-CESS"のメッセージが表示されればフォーマットが完了したことになります（記録カードは機器に装着する前にフォーマットしておくことで記録安定性が向上します）。



5-6-11 システム設定

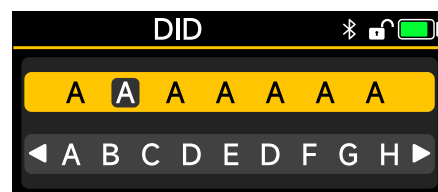
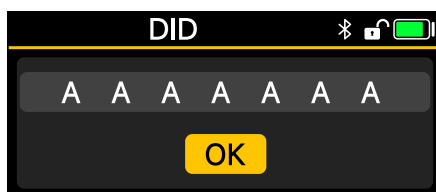
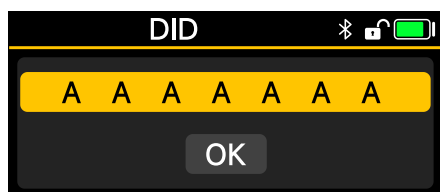
LED:

このモードでは、撮影環境に応じて、機器のLEDインジケータランプの点灯 / 消灯の選択が可能です。



DID :

このモードでは、必要に応じて機器の名称を変更することができます。ホイールで操作し、調整したい文字を選択してからホイールキーを短く押すと選択が保存されます。リターンキーをクリックすると前の設定に戻ります。



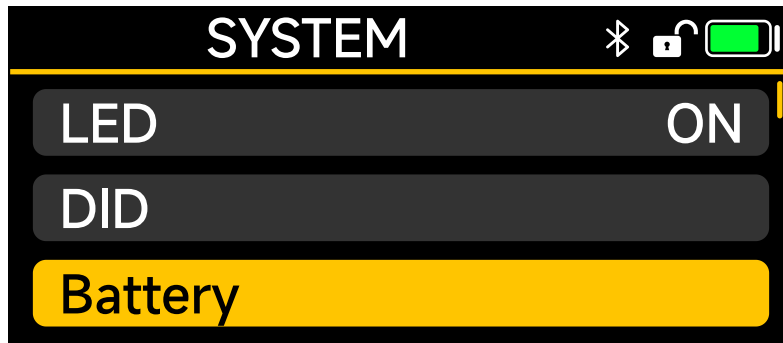
バッテリー: このモードでは、使用するバッテリーの種類が選択可能です。使用するバッテリーを選択することで、機器のバッテリー残量をより正確に計算することができます。このモードでは以下の4種類の電池が使用できます:

DEITY AA: DEITYリチウム鉄電池。

アルカリ: 通常のアルカリ乾電池

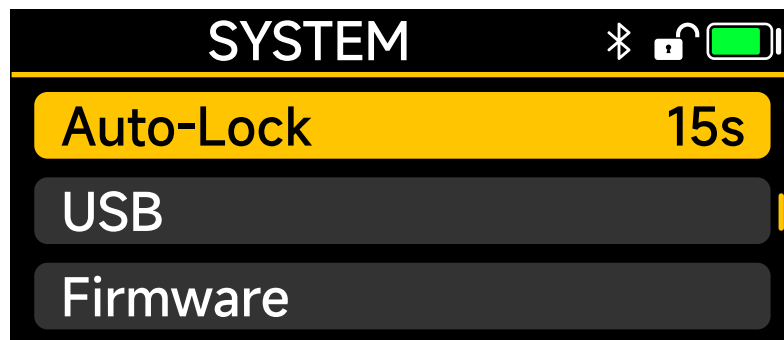
リチウム: 1.5V安定化リチウム電池

ニッケル水素: 1.2Vニッケル水素充電電池



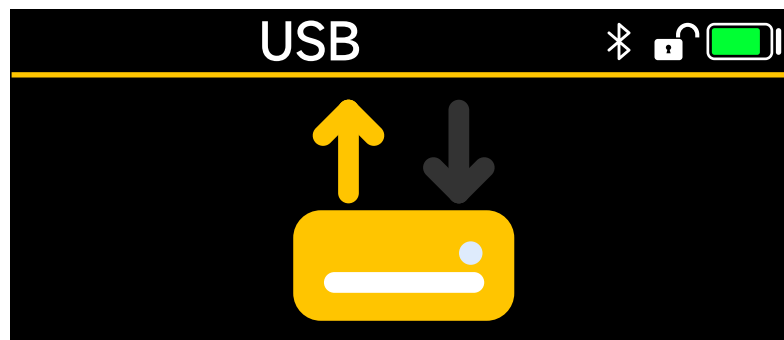
オートロック:

このモードでは、操作していないときにスクリーンが点灯している時間を設定でき(初期設定は15秒)、Never / 15秒 / 1分から選択可能です。設定後はその記録を保持します。



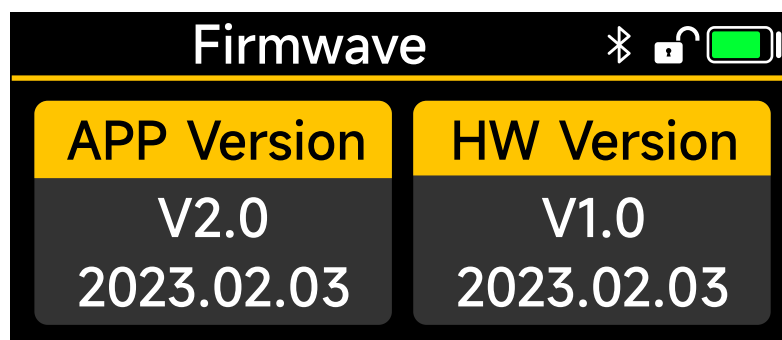
USB:

このモードでは、PR-2機器をUSBケーブルでコンピューターに接続し、収録した音声ファイルの転送が可能です。



Firmwawe:

このモードでは、機器をサポートするアプリケーションのバージョン情報と、現在の機器のファームウェアバージョン情報を表示できます。



アップグレード：

本装置はUSBディスクまたはSDカードによるハードウェアアップグレードが可能で、exFat/-FAT32パーティションフォーマットのUSBディスクに対応しています。

アップグレード前に、公式サイトから最新のファームウェアをダウンロードし、USBディスクまたはSDカードのルートディレクトリに保存してください。USBディスクは「USB-C to USB-A Firmware Upgrade Adapter」でUSB Type-C 入力ポートに接続するか、SDカードを機器に挿入してください。

ファームウェアは、メニューの「アップグレード」オプションを選択し、画面上の指示に従って更新可能です。ファームウェアのアップデートが完了すると、ファームウェアの最新バージョン番号が表示されます。システムセットアップメニューの "Firmware " オプション画面から、現在のファームウェアバージョン情報を確認することができます。



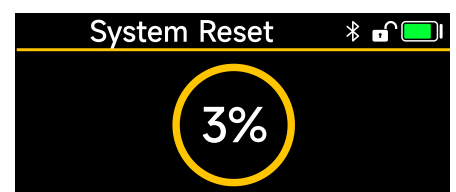
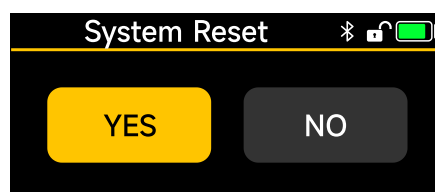
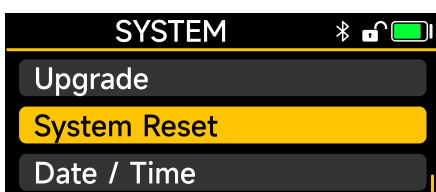
下図のようなアイコンが表示される場合は、SD カードまたは USB ディスクが装置に挿入されていない、または装置が内部のアップグレードファイルを読み取ることが出来ない可能性があります。



システムリセット：

このモードでは、"System Reset" の項目から "YES " を選択することでシステム設定のリセットが可能です。

"SUCCESS " メッセージが表示されたら、システム設定のリセットが完了したことを意味します。



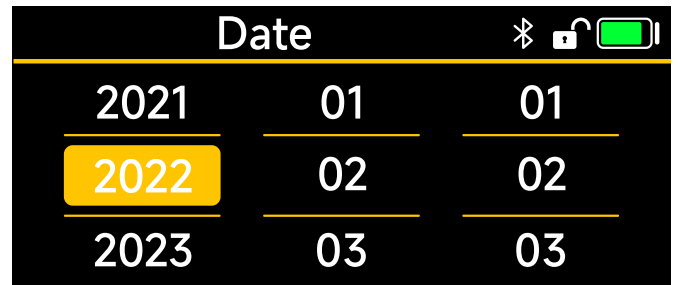
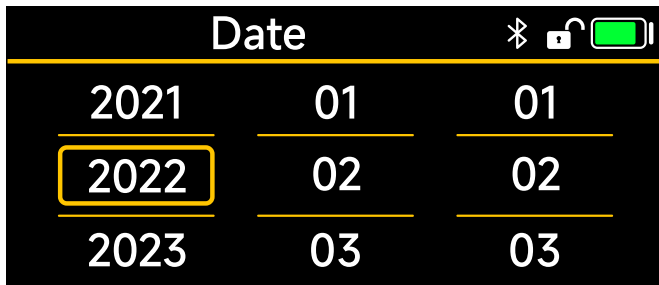
日付/時刻：

このモードでは、日付と時刻を設定することができます。

日付の設定は、現在の日付情報を設定する機器に合わせてカスタマイズすることができます。

確定したら日付調整画面に入り、ホイールで日付番号を調整し、ホイールを押して確定可能です。

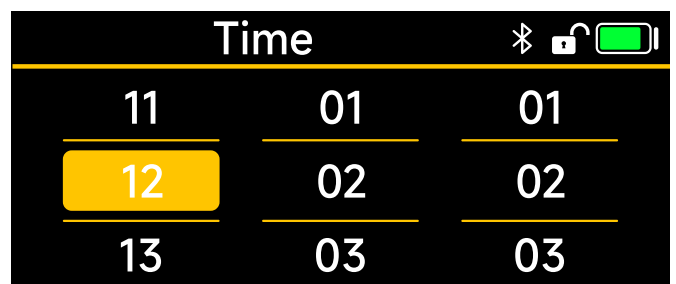
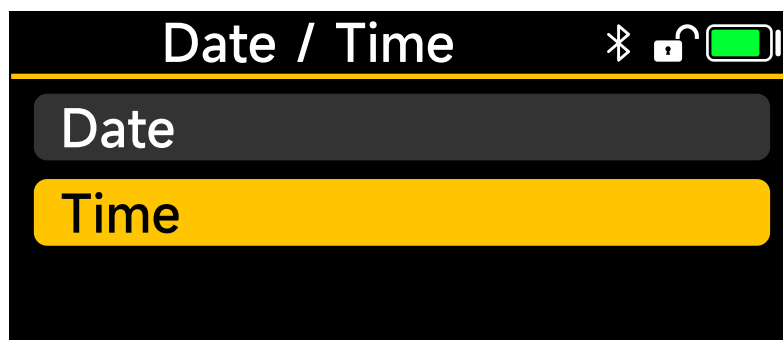
確定前にバックボタンをクリックすると設定前または初期設定に戻ることが可能です。



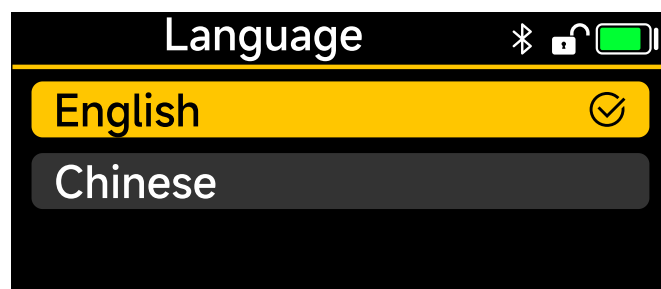
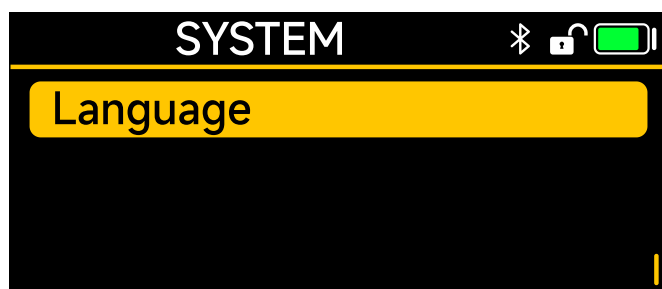
TIME設定は、現在の時間情報を設定可能です。

OKボタンをクリックすると時間調整の画面に入り、ホイールで時間を調整します。

" OK " をクリックすると調整された時間情報を保存し、" バックボタン " をクリックすると設定前または初期設定に戻ることができます。



言語選択モードでは、必要に応じてデバイスの表示言語を切り替えることができます。



6. PR-2 仕様パラメーター

最大サンプルレート	48k
内蔵スピーカー	なし
収録カードサポート	最大128GB
ビット深度	24 bit , 32bit float
タイムコードサポート	23.98 / 24 / 25 / 29.97 / 29.97DF / 30 / 50 / 60
アナログ入出力	1入力 / 1出力
デジタル入出力	なし
ファンタム電源	なし
周波数応答	20 ~ 20kHz
ゲイン/トリム範囲	-12 ~ +36dBu
シグナルノイズ比率	90dB (+18dBu)
電源オプション	単三電池2本 / USB-C
動作温度	-20 ~ 50°C
本体サイズ	58×55×18mm
重量	40g (本体のみ)

上記のデータは Aputure Audio Laboratory で測定したものであり、実際のデータが優先されます。

注意：

使用ガイドのイラストは参考用です。製品の継続的な新バージョン開発により、本製品と使用ガイドのイラストに相違がある場合は、製品本体を参照してください。

免責事項

本製品を正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず本書をお読みください。また、お読みになった後も大切に保管してください。本製品を正しくお使いいただけない場合、お客様または他のお客様が重傷を負ったり、本製品が破損したり、物的損害が発生する可能性があります。本製品を使用した時点で、本書の内容を理解し、認識し、承諾したものとみなします。使用者は、使用者自身の行動およびそこから生じるすべての結果について責任を負うものとし、使用者が本使用ガイドに従って製品を使用しなかったことから生じるいかなる損害についても、アプチュアは責任を負わないものとします。

当社は、法令を遵守することを条件に、本書および本製品に関連するすべての文書を解釈する最終的な権利を留保します。本書は予告なく更新、改訂、または終了することがありますので、最新の製品情報についてはAputure公式ウェブサイトをご覧ください。